

ナショナル強制排気形石油給湯機 OW-33GE・OW-33GE K






1

据付け工事

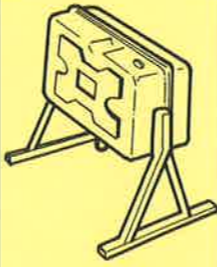

据付け場所は、水道配管工事・電気配線工事などの付帯工事が容易にできる場所にして下さい。又、火災予防上所定の距離がじゅうぶんに取れるスペースが必要です。

1.開こん

●付属部品(本体に同こんしています)

燃料フィルターセット 1個	アース棒 1個	リモコン工事用 ビスセット
		
プラグ 2個	煙突接続フランジ 1個	
	 (取付ネジ付)	

●別販部品(事業部取扱い品)

品番	OT-903	OB-PC6K2CA
部品名	油タンク	リモコンケーブル
外観		
数量	1	1
備考	タンク容量90ℓ 他に230ℓ460ℓあり	6芯コード(20m) 他に5.10.15mあり リモコン工事用

●設備工事部材センター取扱い品

AD-3322B5	水道用減圧弁	1	
AD-3220A2	逃し弁(安全弁)	1	給水用
AD-3220B2	逃し弁(安全弁)	1	給湯用補助逃し口付
AD-2012HL	φ120 強制排気トップ	1	強制排気式用・他に
AD-2005HL	φ105 強制排気トップ	1	強制排気筒セットあり

2.設置及び据付け

●据付け場所の選定

- ①配管からの放熱ロスを少なくするため、使用頻度の多い台所又は浴室に近い場所。
- ②排気工事が基準通りに行える場所。
油タンクが安全に設置できる場所。
- ③本体前面にメンテナンスができるスペース(1.5m)がとれる場所。
- ④隣近所への運転騒音が配慮できる場所。
- ⑤湿気が多い場所や、ガス等揮発性の物が近くにない場所。

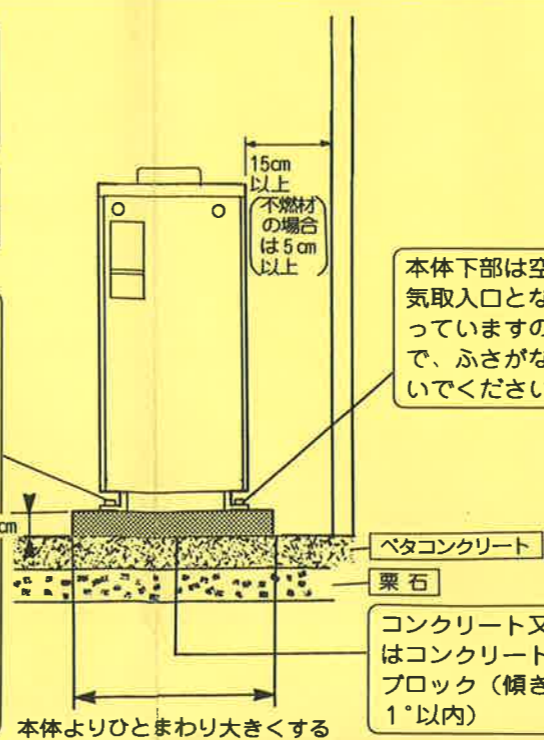
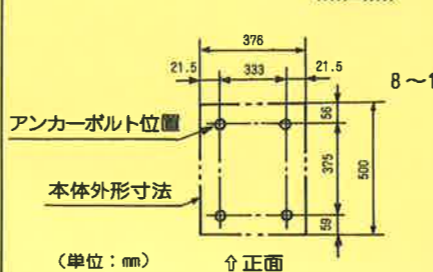
●燃焼空気取入口

屋内に設置される場合は、下表の開口面積の取入れ口を上部(換気口)と下部(給気口)にそれぞれ1カ所設けてください。

有効開口面積	鋼製ガラリ
600cm ² ×2カ所	1200cm ² ×2カ所

●アンカーボルト

- 本体をアンカーボルトで水平に固定してください。
- アンカーボルトはボルト高さ2cm以下にしてください。



2

油配管工事

100ℓ以上、500ℓ未満の油タンクを各地の火災予防条例に従ってすみ

●油タンクの据付け場所は、下記の点に注意して選定してください。

- ①風通しのよいところで直射日光などの影響が少ない位置。
- ②直接雨水がかからない位置。
- ③屋内に設置する場合は、壁・柱・天井は不燃材にする。
- ④落雷の影響のない位置。

防火壁

本体と油タンクの間隔2m未満のとき必要。

●燃料フィルター

配管工事終了後、油タンクに給油してから必ず燃料フィルターの空気抜きを必ず行ってください。

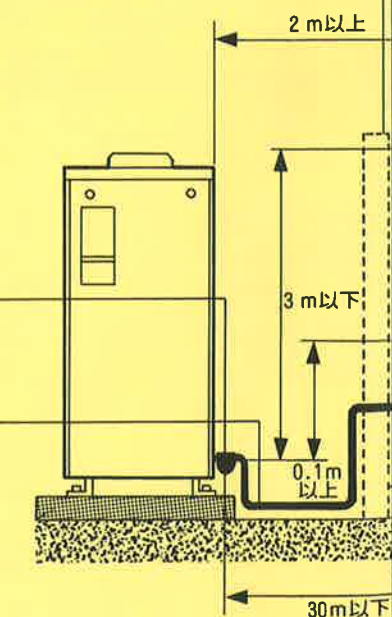
●送油配管

- 電磁ポンプの接続口に保護キャップを付けていますが、配管時には必ず取り外してください。
- 配管材料はφ8なまし銅管を使用してください。
- 配管の途中に空気だまりができないようにする。



●銅管のフレヤ出しは必ずフレヤ工具を用いて行ってください。

●配管接続部の油もれを必ず点検してください。



を設置する場合、設置届が必要な地方があります。
早やかに届出をしてください。

3 水道配管工事

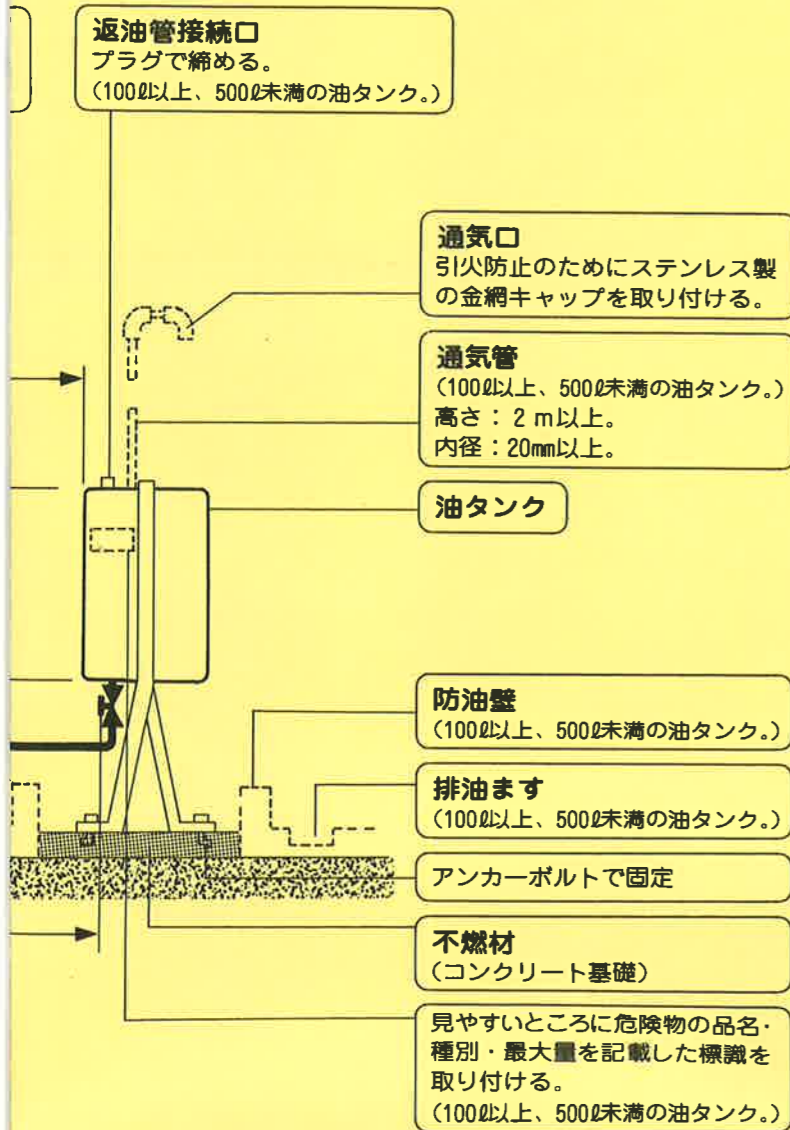
配管工事は水道局の指定工事店に依頼し、所轄の水道局の規定に従ってください。
減圧弁を使用する場合はあらかじめ水道局の許可をとってください。

- 給水口、排水口はそれぞれ左右に設けていますので、ご使用にならない給水口、排水口はプラグ(付属部品)により必ず密閉してください。
- 加圧シスターンを使用する場合は「サービスマニュアル」を参照してください。

混合せん、シャワーへの給水管は、水道用減圧弁の2次側から分岐してください。

配管材料
●給湯管は耐久性・衛生上の点から銅管を使用してください。
●給水管は合成樹脂内面処理鋼管、又は銅管を使用してください。

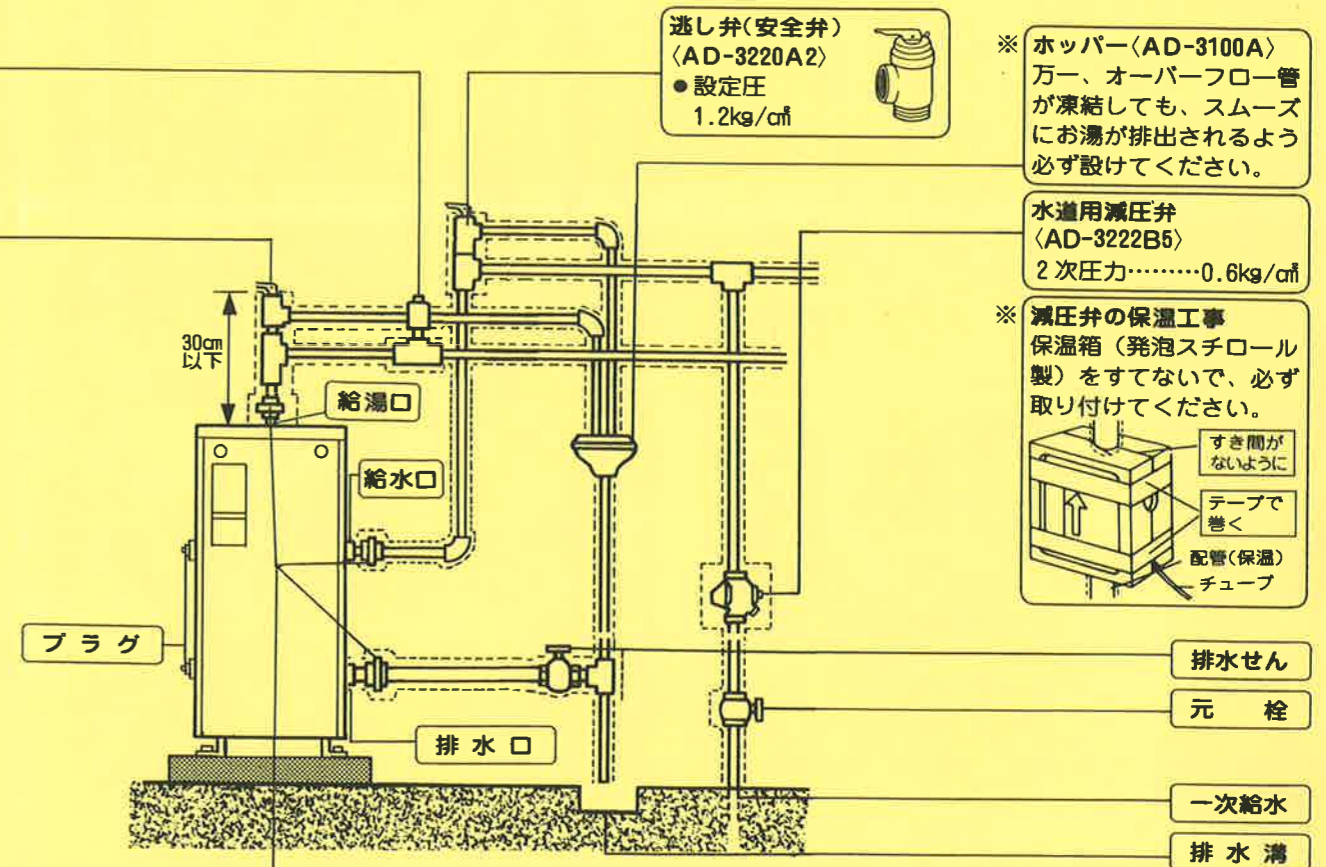
…は保温工事です。給湯・給水配管だけでなく逃し弁(安全弁)、排水管も保温してください。
※印は凍結防止工事です。必ず行ってください。



自動空気抜き弁
(AD-3820)
配管は空気だまりをおこさないように勾配を設けてください。空気抜き弁を取り付けますと効果的です。

逃し弁(安全弁)
(AD-3220B2)
●設定圧………0.9kg/cm²
(熱交換器の破損防止のため、この特殊逃し弁(特殊安全弁)を使用してください。)
特に重要ですので、必ず実施してください。

●煙突と配管保温材の距離
a = 5 cm 以上
a
煙突
本体
a
配管保温材
(上面図)
a寸法が小さいと保温材が溶ける場合がありますので必ず守ってください。



※ 逃し弁の保温工事
すき間がないように
テープで巻く
保温箱
ビニルチューブ

ユニオン
●本体との配管接続口には、ユニオンを必ず設けてください。
●銅配管の場合、電食による腐食を防止するため絶縁ユニオン(AD-3020U₁)を使用してください。

※ 水道用減圧弁の加温工事：
減圧弁用電子ヒーター(AD-4228)
水道用減圧弁
ホルダー
減圧弁用電子ヒーター
電源コード
ラベル
固定穴
露出表示部

4

煙突(排気筒)工事

煙突(排気筒)工事は正常なドラフト(通風力)を与え、燃焼を正しく行うためと安全性の点から極めて大切な工事です。各地の火災予防条例では煙突の設置基準を定めておりますので、必ず厳守して正しく工事してください。

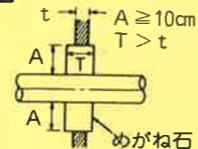
排気筒の材質・寸法
材質はホーロー処理鋼板か、ステンレス鋼板 φ120mm 又は φ105mm を使用すること。

排気筒の延長限界

曲がり管(エルボ)	長さ(直管)
1	7 m
2	5 m
3	3 m

(排気トップの曲りは含まない)
長すぎたり曲がりの数が多すぎたりすると燃焼不良の原因になりますので注意してください。

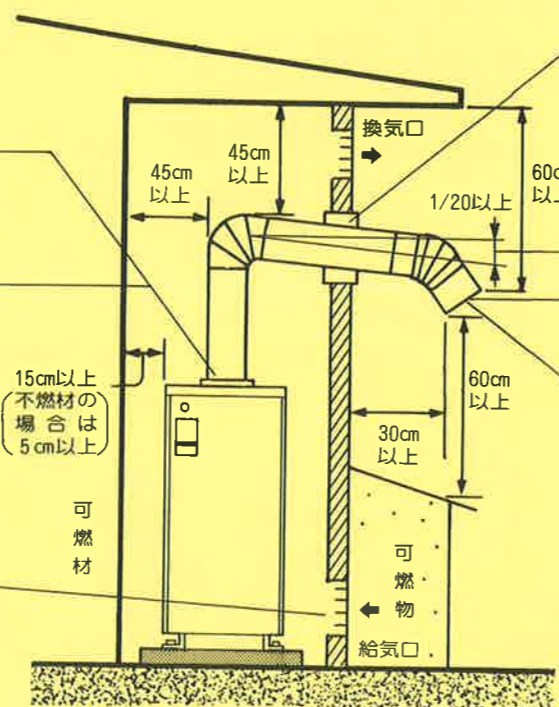
めがね石



取付ネジで、煙突接続フランジを、製品本体に固定すること。

排気筒の接続部は付属のテープで必ずシールすること。

屋内設置・ボイラ小屋設置の場合は、給気口・換気口共に有効面積600cm²とすること。



必ず先下り勾配にすること。

排気筒トップは専用のものを用いること。

排気筒トップの周囲15cm以内に可燃物がないこと。

排気トップは必ず、別販強制排気トップ φ120用 (AD-2012HL) 又は φ105用 (AD-2005HL) を使用してください。

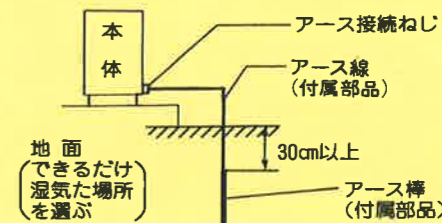
5

電気配線工事

適切な位置に電源コンセント所定の配線をしてください。

- 電源は単相交流100Vを使用してください。電源電圧が高すぎたり、低すぎたりは90~110Vを確保してください。
- 50Hzと60Hz地区とでは電磁ポンプの配線および空気調節板の設定位置を必ず確認してください。
- 本体専用コンセントは必ず雨水のかからない場所に設置してください。
- リモコンケーブルは電源コードと接触しないように配線してください。

1. 接地(アース)工事



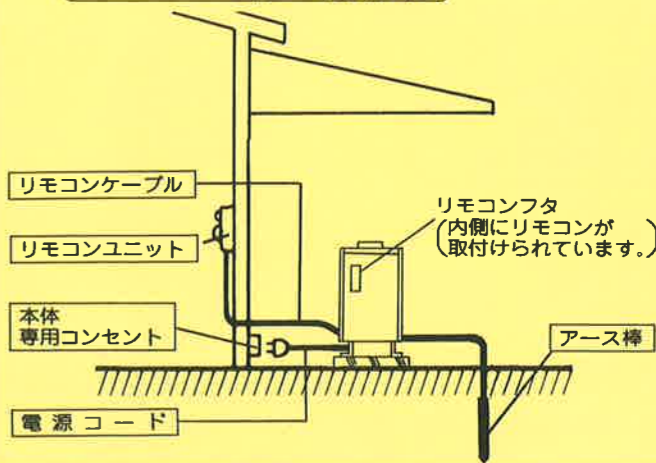
- 万一の感電事故を防ぐため、必ず電気設備基準に準じた接地工事を行ってください。(法令で規定されています。)
- さらに、漏電防止のためにアースしてください。

(ご注意) ガス管や水道管、電話や避雷針のアース回路、又は他のアース回路には接続しないでください。(法令などで禁止されています。)

2. リモコン工事

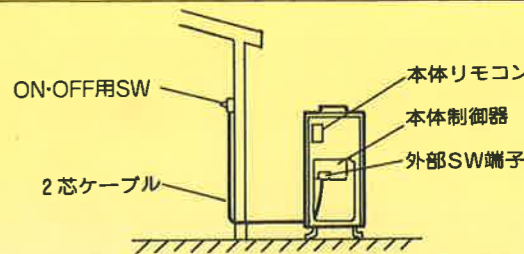
●製品本体に取り付けてあるリモコンをはずす場合は、必ずリモコンの取付場所を選定してください。

リモコンの取付場所選定



- リモコンの取付点に注意して選定してください。
- ①必ず屋内に選定してください。
- ②運転スイッチの近くに選定してください。
- ③配線工事が容易な場所に選定してください。
- ④高温(50℃以上)の場所に選定しないでください。
- ⑤幼児の手の届かない場所に選定してください。

簡易リモコン(電源のON.OFFのみ行う)の場合



- ①製品本体の電源スイッチはOFFにして、本体リモコンの電源スイッチをONにして、本体リモコンをON/OFFしてください。
- ②本体制御器の電源スイッチはONにして、本体リモコンをON/OFFしてください。
- ③屋内にON/OFFスイッチを設置してください。
- 製品が簡易リモコンを使用してください。

がない場合は、電気配線を電力会社の指定工事店に依頼し、

すぎたりすると誤動作の原因になりますので

が異なります。Hz表示を確かめてください。

。誤動作の原因になります。

故防止のため、必ずアースしてください。

に基づき、必ず電気工事士による第3種接

てくださいます。

しゃ断器を取り付けることをおすすめしま

漏電しゃ断器を入れた他の製品

して屋内リモコンにする場合に行ってください。

付場所は需要家様とご相談のうえ、下記の

取り付ける。

子の操作が容易で、表示ランプが良く見え

容易で、配線の長さが20m以内になる場所。

以上)になる場所、湿気の多い場所には取り

とどかない場所。

のリモコンはそのままにしておく。(運転スイ

モコンの運転スイッチをONにしておく。「ON

SW」を切っても運転が停止しませんので注

意してください。

の「外部SW」端子に2芯ケーブルを接続する。

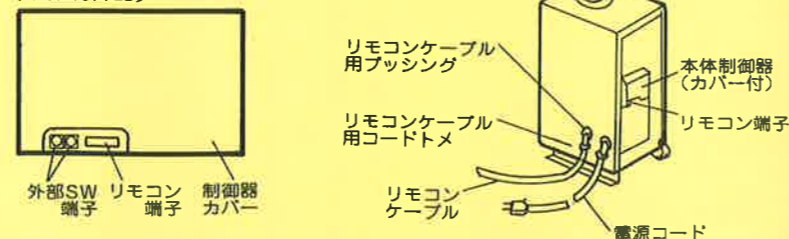
・OFF用SWを取付け、2芯ケーブルを接続する。

屋外に設置されている場合は、屋外用ケーブ

壁面に取り付ける場合

- ①製品の前面を外す。
- ②リモコンの表ぶたを外す。
(右の図のように表ぶたと裏ぶたの間のスキマに⊖ドライバーなどを差し込んで、かるく手前にひっぱる。)
(ツマミは、外れませんのでひっぱらないでください。)
- ③リモコン基板を外す。
(ネジ2本を外して、リモコン基板を裏ぶたから取り外す。)
- ④リモコンについているコードを取り外す。
(コードのコネクタをひっぱってプリント基板からコードを外す。)
(コードトメのネジを外す。)
- ⑤別販のリモコンケーブルをプリント基板に差し込む。
(ケーブルの3Pハウジング2ヶの方をプリント基板の色指示にあわせて差し込んでください。)
- ⑥④ではずしたコードトメでリモコンケーブルを金具に固定する。
- ⑦裏ぶたを製品本体から取り外す。
(ネジ2本を外す。)
- ⑧裏ぶたを壁面に付属のネジ(4×20、2本)で取り付ける。
- ⑨リモコン基板を裏ぶたに固定する。
- ⑩表ぶたをはめ込む。
- ⑪リモコンケーブルのもう一方の端(6Pハウジング側)を製品左側面のプッシングを通し、本体制御器の「リモコン」端子に差し込む。
- ⑫付属のコードトメでケーブルを製品に固定する。

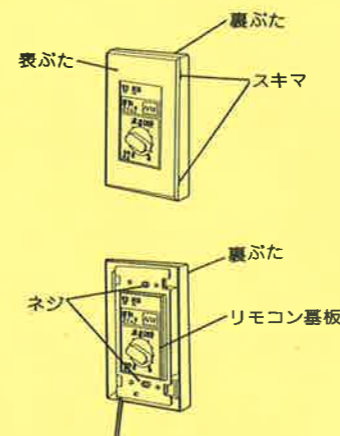
【本体制御器】



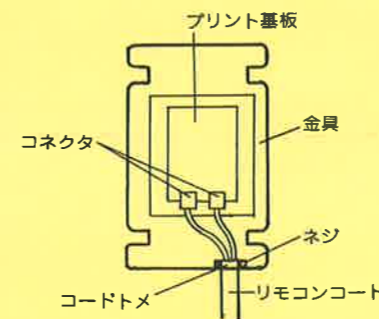
壁面に埋め込む場合

- ①～⑥までは「壁面に取り付ける場合」と同じ手順で行う。
- ⑦壁面に1コ用スイッチボックス(カバーなし)を設置する。
- ⑧スイッチボックスを基準に壁にほぼ同等の大きさ(55×100mm)の穴をあける。
- ⑨リモコン基板をスイッチボックスに付属のネジ(4×30、2本)で取り付ける。
- ⑩～⑫は「壁面に取り付ける場合」と同じ手順で行う。

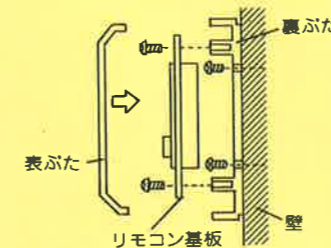
【リモコン】



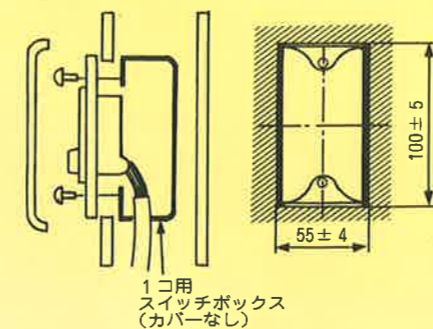
【リモコン基板裏面】



【壁面に取り付ける場合】



【壁面に埋め込む場合】 【壁穴あけ寸法】



6

試運転

- 据付けが完了したのち、「取扱説明書・注意書」の「据付け工事後の確認と試運転」の項目に従って必ず、チェックと試運転を行ってください。
- 需要家様への引渡しに際して、同こんしてある「取扱説明書・注意書」をお渡しのうえ、「使用方法・日常の手入れ」について詳しく説明してください。
- 特に「油タンク内の灯油を切らさないようにしていただくこと」と「凍結防止のための使用方法」については念を押して需要家様をお願いをしてください。

運転準備

- ①給油
油タンクに白灯油(JIS1号灯油)を入れる。
- ②送油管の空気抜き
燃料フィルターの空気抜きせんをゆるめ、空気抜きをする。
- ③油もれの確認
配管および本体から油もれがないか確かめる。
- ④給水
給水配管の元栓を「開」にし、給湯蛇口から水が出ることを確かめる。
- ⑤水もれの確認
配管および本体から水もれがないか確かめる。
- ⑥電源プラグの確認
専用コンセントに電源プラグをさし込む。

運 転

運転スイッチを「入」にし、運転状態で、次の異常がなく、正常であることを確かめてください。

- ①ファンモータの回転異常音、電磁ポンプの異常音および振動音。
- ②着火異常音(着火おくれなどによるもの)。
- ③煙突からのすす発生。
- ④振動燃焼などによる燃焼異常音。
- ⑤炎検出器の異常などによる断続燃焼。
- ⑥試運転時、排気管トップより臭いや白煙が出ることがありますが、運転を続けると消えます。故障、異常ではありません。

●ご注意

- 燃焼ランプが点滅する時は、再度「運転準備」の項を確認して、運転スイッチを「切」「入」してください。
- 電磁ポンプの調圧ネジなどの部品の調節や、改造は危険ですので、絶対におやめください。